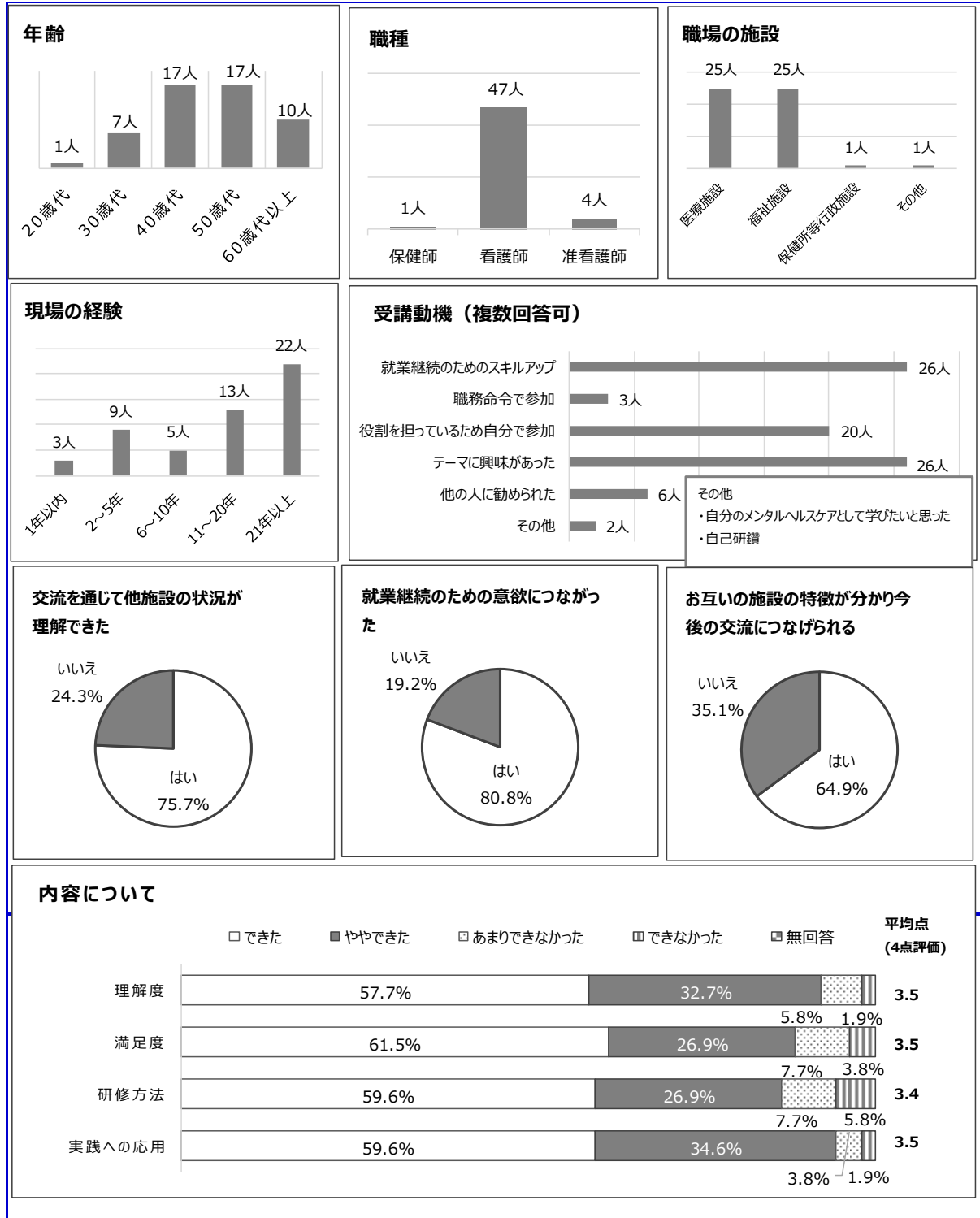
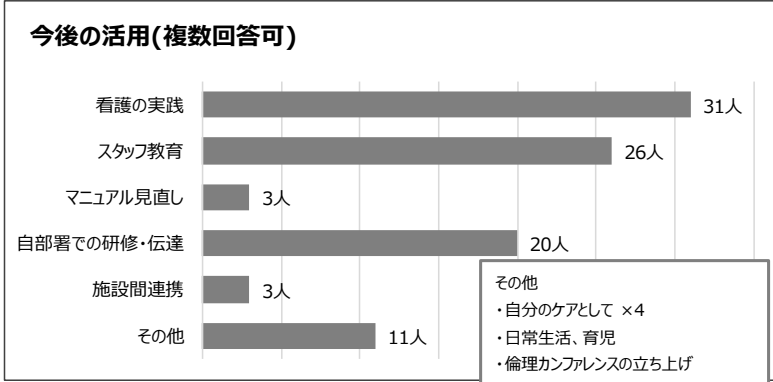


福祉施設・医療施設等に働く看護職員研修・交流会

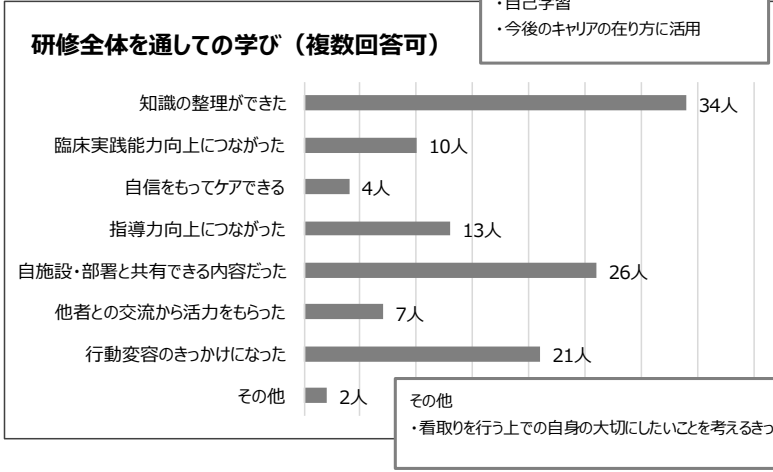
目的：福祉施設・医療施設等に働く看護職員の交流を通じて、勤務する施設外における仲間づくり、ネットワーク化を図ることで離職防止につなげる。

開催日	研修内容	受講者数	配信	会場
7/29 (土)	メンタルヘルスケア	7名	15名	看護キャリア支援センター
10/28 (土)	看護倫理	8名	2名	看護キャリア支援センター
12/16 (土)	看取り	15名	5名	ながさき看護センター





その他
 ・自分のケアとして ×4
 ・日常生活、育児
 ・倫理カンファレンスの立ち上げ
 ・自己学習
 ・今後のキャリアの在り方に活用



その他
 ・看取りを行う上での自身の大切にしたいことを考えるきっかけとなった

受講者数	52人
回答者数	52人
回答率	100.0%

※割合の合計は四捨五入の関係で100%とならない場合もあります。

所属施設 地区別

	病院	クリニック	福祉施設	その他	個人	計
県南	2		5			7
県央	2		5			7
県北	6	2	7	1		16
離島	15		7			22
計	25	2	24	1	0	52

<評価>
 アンケート結果から、「モチベーション向上につながった」「行動変容を実感した」など、受講者の多くが就業継続への前向きな変化を実感していた。また「交流の糸口ができた」「仲間から力をもらった」など他施設との横のつながりや、今後、ネットワーク化にも期待させる成果がみられた。
 講義内容では、「役立つ内容だった」「スタッフ教育に参考になった」と高い満足度が示され、「新たな視点を得た」など、自施設を振り返る良い機会ともなっていた。今後は「看護実践に活かしたい」「部署での研修に活用したい」など、成果を施設内の看護の質向上に還元していく考えも多くみられた。
 経験豊富な看護職を中心に、医療・福祉施設から参加があり、施設間のネットワークと併せて看護連携への協同にもつながることが期待される。スキルアップとモチベーション向上を目的に受講され、施設間の交流と知識共有の場ともなっている点から高い継続ニーズがあり、就業継続支援の有効な取り組みと評価できる。

<課題と今後の取り組み>
 開催回数は3回であったが、受講者数の低迷が課題である。求められるニーズを把握し、福祉施設からの参加者が増加するテーマの検討が必要である